



協育



村山市立楯岡中学校

学校だより

令和7年度

2月20日号

文責 校長 加藤

「自分と向き合って」これからの道しるべに

【2月5日 2年生「立志式」】

日本古来の武家社会の風習「元服」にあたる儀式、「立志式」を行いました。「志」を立て、自分の将来に向けて、精神的な支えにしようとする儀式。本校では、次のような目的で継続しています。

- ①将来の目標や夢、生き方について自分自身を見つめ考える機会としたい。
- ②「願いを込めた言葉や思い」を発表することで、自分の行動に責任を持ち、粘り強く立ち向かう姿勢を養いたい。

生徒たちは、これからの長い人生を見据えて、前向きに生きていく上での目標を定め、それを成し遂げるための誓いを「支えとなる言葉」に乗せ、堂々と発表しました。緊張しながら発表した「志」は、これからの大きな力となることでしょう。お忙しい中ご参観くださいました保護者のみなさま、温かく見守っていただき、ありがとうございました。

1組



2組



3組



4組



次のページに「支えとなる言葉」と発表内容の一部を取り上げています。

一人一人の思いがぎっしり詰まった、素晴らしい発表でした。

※発表内容を要約しています。

「平和」1組 今野 大和（やまと）さん

なぜ「平和」を選んだのかというと、世界には住むところや食べ物が十分でなく、苦しんでいる人がいるからです。その人たちの苦しみを心に留めながら生きていきたいと思っています。私は、今幸せです。この幸せを当たり前ととらえてはいけなと思っています。

私は将来、人を幸せにできる仕事に就きたいと思っています。そして、温かくて「平和」な世の中になるために貢献したいと考えています。そのために勉強を精一杯頑張りたいと思っています。

「突破」2組 笹原 梨玖（りく）さん

僕の選んだ言葉は「突破」です。僕には今年、陸上で達成したい目標があります。そして、その目標は、自分の将来の夢に向かう第一歩であると思っています。目標達成のためには、記録の突破はもちろん、気持ちの面でも今の自分をこえなければなりません。

今年の目標だけでなく、これから先、様々な困難が待ち受けていると思いますが、将来の夢の実現のため、前進し、突破し続ける自分でありたいと思います。

「陽希」3組 原田 陽希（はるき）さん

僕は自分の名前を選びました。理由は、僕はとても元気です。そして毎日が幸せで楽しいです。けれども、これから生きていく上で、上手いかわないことが増えたり悩みができたりして、たくさんの壁が出てくると思います。その時に落ち込んで、すぐに挫折せずに解決するまでチャレンジし、太陽のようにいつまでも明るく輝いている人生にしたいです。そして自分の描いている人生を過ごせるように、希望を持って生きていきたいです。

「飛翔」4組 森 翔琉（かける）さん

僕は毎日、何気ない生活を送ることができています。でも、この考えが変わる出来事がありました。それは、職業体験がきっかけです。職業体験では、家族の仕事場を選び、その仕事を実際に体験してきました。何気ない生活を送ることができているのは、家族がつらい作業をして、僕たちを支えてくれているからなのだとこのことを知ることができました。家族が僕たちを支えてくれているということを自覚し、感謝しなければと思いました。

そして、将来は、社会に貢献できる仕事に就いて、大いに「飛翔」して、次は僕が家族を支えていきたいと考えています。

学力向上のカギは「1時間の壁」

2月4日（水）

自分のために「時間と心のコントロール」を

【校長講話紹介 ある研究調査「スマホ（メディア）と学力の関係」より】

研究調査の内容

東北地方の都市部に住む小学5年生から中学3年生までの約7万人に対して、14年間かけて、スマホ（メディア）の利用時間と家庭学習時間が及ぼす学力との関係性を追跡調査したものの。

- ① 「Aグループ：スマホ等の利用時間が1時間以上」の家庭学習時間と学力、「Bグループ：スマホ等の利用時間が1時間未満」の家庭学習時間と学力を比較する。
- ② 学力に及ぼす要因を「パス解析」といった専門的な調査によって明らかにする（要因は学習時間の減少？睡眠時間の減少？スマホ等の利用そのもの？）。
- ③ 生活習慣の改善によって、学力が変化するのかどうかを追跡調査する。

調査結果（裏面の表参照）

- ① Aグループ、Bグループとも家庭学習時間が長いほど学力が身につく。
しかし、
スマホ等の利用時間が1時間以上と1時間未満とでは、学力に大きな差がでてしまう。
例えば、裏面の表AとBの学力偏差値が同じぐらいになる（平均値の50あたり）。
A：スマホ等1時間以上使用し、家庭学習を2～3時間する人
B：スマホ等1時間未満の使用で、家庭学習をほとんどしない人
つまり、
「毎日2～3時間、家庭学習を継続したとしても、毎日1時間以上スマホ等を使い続けてしまえば、結果に結びつかない。」といった衝撃の事実！
- ② 学力に及ぼす要因は「スマホ等の利用による直接的なダメージ（脳の働きを抑制してしまう）」ことが明確に。
- ③ 生活習慣を改善（スマホ等の使用時間を1時間未満に）すれば、脳の機能は回復し、学力が高まっていく。つまり、やり直しがきくということ。
そして、脳の活性化のためには、読書が最適。

脳を守り、学力を高めるカギ

- 1 スマホ等の利用を1時間未満に抑える。「1時間の壁」をつくる。
- 2 スマホ等の時間を減らした分、読書で脳を活性化させる。
- 3 「家庭でのルール」をしっかり決めて実践する。

調査結果

衝撃のデータ：2時間勉強しても、

スマホ等使用1時間以上で「勉強ゼロ」と同じに。



スマホ等の長時間の利用で、努力が学力に反映されにくくなっていきます。

これからもテストや入試など、学習の成果、自分の学力の現在地を試す場面に向き合うこととなります。得点が伸びていけば、誰もがうれしいと感じるでしょうし、すでに目標点を思い描いている人もいると思います。テストに限らず、しっかりと学力をつけて、将来の幸せにつなげていく楯中生にとって「ドキッと」するような調査結果です。ちょうど「パワーアップウイーク」と重なるタイミングでもあります。家に帰ってからの生活と関連づけて考えてほしいと願っています。「自分を大事にする」ために、時間と心をコントロールしていきましょう。

私たち教職員には、生徒一人一人に「確かな学力」をつける使命があります。まだまだ道半ばではありますが、授業の充実を図る研鑽を積み重ね、実践しているところです。この研究結果から、家庭での生活も大事であることが見えてきます。

生徒たちの脳を守り、日々の努力をムダにしないためにも、帰宅後の生活について引き続き指導してまいります。保護者のみなさま、ご家庭でのルールづくりや「パワーアッププロジェクト」の取り組み等へのご協力をお願いいたします。

これからの予定等について

- 3月 7日 (土) 公立高校一般入試 ※全校登校日 (下校11時55分)
- 3月 9日 (月) 振替休業日 ※7日 (土) 分
- 3月10日 (火) 卒業式練習開始
- 3月11日 (水) 生徒集会・「学級お別れ会」・大掃除
- 3月12日 (木) 「3年生を送る会」
- 3月13日 (金) 3年生「同窓会入会式」・表彰集会・修了式
- 3月14日 (土) 「第21回卒業証書授与式」※全校登校日 (下校は学年ごと)
- 3月17日 (火) 公立高校合格発表
- 3月25日 (水) 本校教職員「離任式」※希望参加になります。